

講義コード	11C0273802	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	地球環境問題B					藤岡 明房		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	地球環境問題の中で最も重要とみなされている地球温暖化問題について、体系的な説明を行い、そのうえで、地球温暖化対策について国際的な対策と日本の対策について説明する。さらに、地球温暖化対策として行われている個別の対策について、太陽光発電などの形で説明する。								
到達目標	地球温暖化問題とは何かについて自分なりに説明できるようになり、現在行われている対策の意味について理解できるようになる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	地球温暖化問題についての著書は多数存在するので、その中で興味を持てるものを選び読むようにする。また、報告書や論文も多数存在するので、それ他についても読むようにすることが望まれる。(計60時間)								
授業計画	【第1回】 はじめに (地球温暖化) 【第2回】 化石燃料と二酸化炭素 【第3回】 温室効果ガスと地球温暖化 【第4回】 ヒートアイランド現象 【第5回】 地球温暖化の影響 【第6回】 地球サミット・締約国会議 【第7回】 京都メカニズム 【第8回】 世界の排出量取引 【第9回】 日本の排出量取引 【第10回】 太陽光発電 【第11回】 風力発電 【第12回】 バイオマス発電 【第13回】 自然エネルギーの利用 【第14回】 地球温暖化問題の将来 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	第2期の最後に試験を行い評価する。また、平常点も参考にする。								
フィードバックの内容	大学のポータルサイトのストレージに藤岡明房のフォルダを掲載し、その中に地球環境問題Bのフォルダを設置し、そこに必要な情報を掲載するので必ず見るようにすること。								
教科書									
指定図書									
参考書	『環境経済入門』三橋 規宏 (日経文庫) 2013.3、『入門 環境経済学』日引 聡 (中公新書) 2002.7、『環境経済学』細田 衛、他 (有斐閣アルマ) 2007.3、『環境白書』環境省 (環境省) 2016.6、『グラフィック環境経済学』浅子 和美 (新世社) 2015.3								
教員からのお知らせ	地球環境Aも履修するように。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付けます。								
その他									